

ジェイック、10年間で社員の累計読書量が7,000冊を突破 教育研修のプロが選ぶ3冊

企業向けの教育研修事業と若年層向けの就職支援事業を展開する株式会社ジェイックは、社員の成長支援制度の一つである「読書手当」にて、2016年の制度開始から10年となる2025年に、社員の累計読書数が7,000冊を突破したことをお知らせします。

10年間で社員の累計読書量が7,000冊を突破 教育研修のプロが選ぶ3冊



■社員の成長を支援する「読書手当」制度について

「教育」を事業の核とする当社では、社員一人ひとりが学び続け、知見をアップデートすることが、提供価値の向上に直結すると考えています。本制度は2016年に、当社代表の佐藤の「自己啓発活動の手段として、手軽かつ効果性の高い読書を推奨したい」「読書を通じてボキャブラリーを増やし、思考力を高めてほしい」という想いのもとスタートしました。

具体的には、業務に役立つ書籍を読んだ社員が、読後の学びや気づき、業務で活かしたいポイントをレポートとして提出すると、3冊ごとに3,000円の手当が支給されます。提出されたレポートは社内で共有され、個人の学びが組織全体の知的資産へと変換される仕組みです。現在は、毎月の全会議で読書手当の対象者を発表するなど、書籍購入費用の補助にとどまらず、社員同士が互いの学びを称え合う文化の醸成にも取り組んでいます。

■教育研修のプロが選ぶ「2026年にこそ読むべき」3選

2025年は「AIをどう使いこなすか」という技術的関心とともに、「AI時代に人間はどうあるべきか」といった哲学・心理学的テーマの書籍を読む社員が多く見られました。単なるスキル習得にとどまらず、人間力そのものを高める学びを重視する姿勢が広がっています。これらを踏まえ、2025年に社員が読破した書籍の中から、「これからビジネスパーソンに不可欠な視点」を得られる3冊を、当社取締役・教育事業部長の近藤浩充が選定しました。

1. 『生成AIで世界はこう変わる』（今井翔太／SBクリエイティブ）

【選定理由】2025年は、AIが単なるツールから「共に働くパートナー」となった転換期でした。本書は技術解説にとどまらず、人間にしかできない『問いを立てる力』の核心を突いています。研修現場でも、AIを使いこなす人と、そうでない人の差は広がり続けています。変化を嘆くのではなく、変化を前提としたキャリアを切り拓くための「思考のコンパス」として、全ビジネスパーソンに読んでほしい一冊です。

2. 『こうやって頭のなかを言語化する。』（荒木俊哉／PHP研究所）

【選定理由】 リモートとリアルのハイブリッドな働き方が定着した今、「言語化能力」の重要性が高まっています。頭の中にある曖昧な思考を言葉にするだけで、会議の質や意思決定のスピードは劇的に変わります。当社が支援する若手層からベテラン層まで、すべての層にとって「言語化能力」を養うための必読書です。

3. 『DIE WITH ZERO 人生が豊かになりすぎる究極のルール』（ビル・パーキンス／ダイヤモンド社）

【選定理由】 働き方改革の中、私たちが向き合うべきは「どう生きるか」という本質的な問いです。複数の社員が本書を手に取った事実にも表れています。人生に目的意識を持つことは、巡り巡ってお客様への最高のパフォーマンスへと繋がります。私たちは、そうした「豊かな人間性」を持ったプロフェッショナル集団であり続けたいと考えています。

■2025年は計756冊の読書レポートを提出。人気書籍一覧

2025年は年間で756冊のレポートが提出されました。その中で、複数の社員に読まれた書籍は以下の通りです。

- 『生成AIで世界はこう変わる』（今井翔太／SBクリエイティブ）
- 『世界中の億万長者がたどりつく「心」の授業』（Nami Barden／すばる舎）
- 『世界の一流は「休日」に何をしているのか』（越川慎司／クロスマディア・パブリッシング(インプレス)）
- 『目標達成の技術』（青木仁志／アチーブメント出版）
- 『夢と金』（西野亮廣／幻冬舎）
- 『未来に先回りする思考法』（佐藤航陽／ディスカヴァー・トゥエンティワン）
- 『本を読む人はうまくいく』（長倉顕太／すばる舎）
- 『変える技術、考える技術』（高松智史／実業之日本社）
- 『怒らないこと』（アルボムッレ・スマナサーラ／大和書房）
- 『朝イチの「ひとり時間」が人生を変える』（キム・ユジン／文響社）
- 『戦略的思考トレーニング』（三坂健／PHP研究所）
- 『世界一やさしい「やりたいこと」の見つけ方』（八木 仁平／KADOKAWA）
- 『人生をガラリと変える「帰宅後ルーティン」』（リュ・ハンビン／文響社）
- 『自分のスキルをアップデートし続ける リスキリング』（後藤宗明／日本能率協会マネジメントセンター）
- 『死ぬこと以外かすり傷』（箕輪厚介／マガジンハウス）
- 『最高の結果を出すKPIマネジメント』（中尾隆一郎／フォレスト出版）
- 『苦しかったときの話をしようか』（森岡毅／ダイヤモンド社）
- 『新しい教え方の教科書』（北宏志／ぱる出版）
- 『感謝脳』（樺沢紫苑／飛鳥新社）
- 『学習する組織』（ピーター M センゲ／英治出版）
- 『何から始めればいいかがわかる 最高の学び方』（飯田智紀／ダイヤモンド社）
- 『移動する人はうまくいく』（長倉顕太／すばる舎）
- 『リーダーの仮面』（安藤広大／ダイヤモンド社）
- 『ビジョナリー・カンパニーZERO』（ジム・コリンズ／日経BP）
- 『バビロンの大富豪』（ジョージ・S・クレイソン／グスコー出版）
- 『ドリルを売るには穴を売れ』（佐藤義典／青春出版社）
- 『チーズはどこへ消えた?』（スペンサー ジョンソン／扶桑社）
- 『ストーリーとしての競争戦略』（楠木建／東洋経済新報社）
- 『こうやって頭のなかを言語化する。』（荒木 俊哉／PHP研究所）
- 『THE MODEL』（福田 康隆／翔泳社）
- 『GIVE & TAKE「与える人」こそ成功する時代』（アダム グラント／三笠書房）
- 『DIE WITH ZERO 人生が豊かになりすぎる究極のルール』（ビル・パーキンス／ダイヤモンド社）
- 『40歳でGAFAの部長に転職した僕が20代で学んだ思考法』（寺澤 伸洋／KADOKAWA）



株式会社ジェイック 取締役 教育事業部長 近藤浩充

獨協大学 経済学部卒業後、情報システム系の会社を経て入社。IT 戦略事業、全社経営戦略、教育事業、採用・就職支援事業の責任者を経て現職。企業の採用・育成課題を知る立場から、当社の企業向け教育研修を監修するほか、一般企業、金融機関、経営者クラブなどで、若手から管理職層までの社員育成の手法やキャリア形成等についての講演を行っている。デール・カーネギー・コース認定トレーナー。昨今では管理職のリーダーシップやコミュニケーションスキルをテーマに、雑誌『プレジデント』(2023年)、TBS「THE TIME」(2025年)ほか人事メディアからの取材も多数実績あり。

■ ジェイックについて

ジェイックは、「可能性を羽ばたかせる」をミッションに掲げ、教育研修サービス、採用支援サービスを提供しています。教育研修サービスでは、Fortune500(アメリカの売上トップ500社)の90%以上が導入する「デール・カーネギー・トレーニング」研修、世界的ベストセラー書籍を基にした『7つの習慣®』研修や、目標達成メソッドとして著名な『原田メソッド®』の研修等を提供しています。採用支援サービスでは、既卒者・第二新卒者向けの『ジェイック 就職カレッジ®』等を提供しており、2005年に既卒者等の支援をスタートして以来、これまでに求職者39,000名以上(※1)、企業7,000社以上(※2)の就職・採用を支援し、厚生労働省委託事業「職業紹介優良事業者」認定も取得しています。

(※1)2005/5~2025/4の当社「就職カレッジ®」等主催の面接会参加人数

(※2)2005/5~2025/4の当社「就職カレッジ®」等の契約締結企業数

■ 会社概要

社名 : 株式会社ジェイック (<https://www.jaic-g.com/>)

本社所在地 : 東京都千代田区神田神保町1-101 神保町101ビル7F(受付6F)

代表取締役 : 佐藤 剛志

設立 : 1991年3月

資本金 : 2億6,277万円(2025年7月末現在)

事業内容 : 教育研修サービス、採用支援サービス、就職支援サービス

既卒向け就職支援サービス「ジェイック 就職カレッジ®」<https://www.jaic-college.jp/>

採用×教育チャンネル「HRドクター」<https://www.hr-doctor.com/>

【お問い合わせ先】

株式会社ジェイック 担当:梅田

E-mail : info@jaic-g.com TEL 03-5282-7600 FAX 03-5282-7607